

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉県2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	キヤノン・コンポーネンツ株式会社再	階数	地上3F
建設地	埼玉県児玉郡上里町七本木3461-1	構造	S造
用途地域	工業地域、指定なし	平均居住人員	20人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2017年10月12日
敷地面積	5,008 m <sup>2</sup>	作成者	齋藤 洋介
建築面積	1,642 m <sup>2</sup>	確認日	2017年10月12日
延床面積	4,147 m <sup>2</sup>	確認者	阪 健吉



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア= 3.0**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.0**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.4

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.7

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 埼玉県上里町に計画された工場である。 断熱性の高い材料の採用と高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		<b>その他</b> -
<b>Q1 室内環境</b> ・全面的にF☆☆☆☆の材料を使用している。 ・床、天井に吸音材を採用し音環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・耐用年数の長い内装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・リフレッシュスペースを計画する等、居住者の快適性に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・敷地内を積極的に緑化を行い、緑の量の確保に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> ・断熱性の高い材料を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。 ・高効率な設備機器を導入し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。 ・再利用可能な部材を採用し、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・屋外照明の計画は、周囲への漏れ光に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される